

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：滋賀県バレーボール協会]

[記載日：令和5年3月19日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 任意団体として昭和 21 年に発足。協会規約を遵守し、バレーボールの普及発展に努力している。	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般社会の法令は勿論、上部団体の日本バレーボール協会や本協会の定める規約を遵守している。	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会長 1 名、副会長 3 名、理事長 1 名、副理事長 4 名以下常任理事や理事が各委員会に属し活動している。	A
原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 年度末の総会時に次年度の基本方針を決定し、それに基づいて各委員会の活動目標や具体的努力事項を策定している。ただ HP 等での公表は行っていない。	B

原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) コンプライアンスに関する意識の啓蒙は、会議や大会時等あらゆる機会を通じて行っている。また、傘下のカテゴリー毎の研修会の実施も促している。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) コンプライアンスに関する意識の啓蒙は、会議や大会時等あらゆる機会を通じて行っている。また、傘下のカテゴリー毎の研修会の実施も促しているが、指導者や競技者数も多く、すべてに行き届いていない現状も。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 複数の会計担当をおき、規約に基づいた会計処理を行っている。年度途中にも予算執行の状況を把握し、年度末に監査を受けている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 各種補助金に関しての規約を遵守し、適切な会計処理を行っている。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会計処理に当たっては複数名が担当し、公正な会計処理を行っている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 協会組織や行事についてはHPで公開している。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 組織運営に関する情報の発信はしていない。	